

おまえざき

2008



市議会だより

御前崎市地域別まちづくり市民会議報告会



地域まちづくり市民会議報告会



緑の植樹ボランティア

第4回 御前崎市文化祭



第3回 御前崎市大産業まつり



第15号

2007.10.11.12月

平成20年2月発行

- 議会年頭あいさつ..... 2
- 12月議会定例会..... 3
- 議案質疑..... 4
- 一般質問..... 5
- 委員会報告..... 10
- 特別委員会報告..... 12
- 視察研修..... 14

発行／静岡県御前崎市議会

編集／議会だより編集委員会

☎0537>85-1115 FAX0537>85-1139

E-mail : gikai@city.omaezaki.shizuoka.jp

謹賀新年



議長 楊 張 正

新年あけまして

おめでとうございませす

輝かしい新春をご家族おそろいでお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より議会に対しまして深いご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

御前崎市も合併し、4年が過ぎようとしております。今後、御前崎市の財政が厳しくなる事が予想される中、議会自らが率先して行革を進めようと、まずは4月に予定されている市議会議員選挙から議員発議により、議員定数を18人から16人に減らすことと致しました。今後も市民の皆様のご協力を得ながら行財政改革を進めていき、議会も市民の皆様と積極的に御前崎市のまちづくりを進めていきたいと考えておりますのでより一層のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

新しい年が皆様方にとりまして良い1年になりますよう、ご祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します。



長 鳴 雄 一



片 淵 一 孝



曾 根 紀 久 雄



阿 南 澄 男



柳 澤 重 夫



曾 根 宏



杉 浦 謙 二



後 藤 憲 志



清 水 澄 夫



岡 村 勝



岩 瀬 初 代



若 杉 泰 彦



西 島 昌 和



増 田 雅 伸



大 澤 満

12月 議会定例会

議員定数を削減、16名とする

御前崎市議会12月定例会が12月3日から19日間の会期で開催されました。市長提出の平成19年度一般会計補正予算をはじめ、条例の制定や一部改正など11件が審議され、いずれも原案通り可決されました。また、議員発議として御前崎市議会議員の定数を定める条例の改正外1件を可決、欠員となっていた委員の選任などを行いました。一般質問には10名が登壇して市長等の見解を質しました。

◎条例

「郵政民営化等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定」

日本郵政公社が民営化されたことから、関係する条例について文言などを整理したものを。

「御前崎市議会議員及び御前崎市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部改正」

公職選挙法の改正により、市長選挙における選挙運動用ビラの作成費を公費負担とするもの。

「御前崎市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正」

市議会議員の期末手当を100分の5引き上げるもの。

「御前崎市特別職の職員で常勤のもの給料等に関する条例の一部改正」

市長、副市長の期末手当を100分の5引き上げるもの。

「御前崎市教育委員会の教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正」

教育長の期末手当を100分の5引き上げるもの。

「御前崎市職員の給与に関する条例の一部改正」

人事院勧告に基づき市職員の給料（若年層に限る）、扶養手当、勤勉手当を引き上げるもの。

◎人事

「人権擁護委員の推薦」

任期満了に伴う人権擁護委員に下村弘子氏（御前崎地区）を推薦した。

「委員の選任」

欠員となっていた議会運営委員会委員に若杉泰彦議員を、原子力対策特別委員会及び総合開発計画策定特別委員会の委員に片淵一孝議員を選任した。

「組合議員の選挙」

欠員となっていた御前崎市牧之原市学校組合議会議員に曾根宏議員が選挙された。

◎議員発議

「御前崎市議会議員の定数を定める条例の一部改正」

議会が行政改革を率先して行うべきとの判断により、議員定数を18名から16名に2名減員した。

「御前崎市議会会議規則の一部改正」

常任委員会、議会運営委員会、特別委員会として議案を提出することができることとした。

◎その他

「工事請負契約の変更」

高松幼稚園園舎改築工事（建築主体工事）の契約金額の変更を承認した。

◎平成19年度一般会計・国保会計補正予算総括表

No.	区 分	補 正 前 の 額	補 正 額	計
1	一 般 会 計	191億4,600万円	6,700万円	192億1,300万円
2	国民健康保険	33億1,612万円	98万円	33億1,710万円

議案 質疑

阿南澄男 議員

問 御前崎支所を開設した当初の平成16年は職員が12名。18年の3月に規則が改正された以後、7名の職員で業務を行っています。合併時の事務事業のすり合わせの中で支所を設置したと思います。が、どうして支所機能が縮小されたか、その大きな要因と今後の対応は

答 当初は市民室・健康福祉室・地域振興室計12名体制でスタートしましたが、機能評価を行った結果、平成18年度より、今

までの地域振興室・市民室・健康福祉室の3室を廃止統合して、総務係及び市民係の2係7名体制により対応をしてきました。

今後につきましては、市民サービスの低下を招かないよう支所機能の見直し等を含めて検討していきたいと考えています。

岡村 勝 議員

問 バス路線維持費補助金

133万6千円についての関連で、ジャストライ

ンから路線打ち切りの方向が出されているが、検討委員会での現段階における検討内容と今後の方向性は

答 今年の4月に、しずつつジャストラインから相良浜岡線と相良御前崎線、浜岡循環線そして御前崎線の浜岡から東の路線について退出する意向が示されました。6月に旅客自動車会社、県バス協会、市民代表、運輸支局、県、

必要があるのでは

答 機能評価した結果、12名から7名に減ったとい

「地域公共交通会議」を立ち上げ、協議をしてきました。浜岡循環線につきましてはスクールバス、その他の路線につきましては自主運行バスでということで調整することになりました。

相良浜岡線、相良御前崎線につきましては、牧之原市と共同による自主運行バスで対応、また、浜岡線の浜岡から東の路線につきましても市単独の自主運行バスで調整しました。前から要望のあった御前崎地区から市役所、病院への路線、公共交通機関の無い比木地区へのルートも視野に入れた路線の設定も考慮しています。

清水澄夫 議員

生活保護の実態は？

問 一、今日まで5年間の保護世帯の推移はどうか、

また、今後の見通しはどうか。二、生活保護世帯比率は御前崎では何パーセントか、県下ではどの位の位置にあるのか。三、

窓口の対応として①申請書を住民から見ても、分かりやすい所に置くこと。②調査は申請書を受けた後にやること

答 合併後4年間の保護世帯の推移と見通しですが、平成16年度が35世帯51人、平成17年度が45世帯70人、平成18年度は40世帯54人、平成19年度は44世帯55人です。今後も同様に推移すると考えている。保護率は1・63%で県下の福祉事務所34あるなかで24位と低くなっています。

問 全国的に生活保護を求めている方は非常に多くなっています。原因は、今の

政治状況の中で雇用不安や低賃金、中小企業の廃業とか商店街の衰退などで、国民生活全体が低下している。24番目と答弁されたが何故この様に比率が低いのか、申請をしても、申請前に調査をしてしまい、断るとい実態があるのではないかと

答 高い低いというのは、その地域の雇用状況、会社の状況や観光地の値が低いとか言われていますが、あくまでも結果の数字です。門前で駄目とか、総量を抑制することはしていません。

問 私のところには、保護の申請に行ったが、意見も聞かなかった、という話がある。生活状況も聞かないうちに受けてもらえませんかと言われたと聞いている。そういう態度はとっていないか

答 調査の件は、あくまで申請を受けてから行なっておりですので、誤解のないようにして下さい。

一般質問

10名が登壇・市政を問う

御前崎市介護保険事業計画・ 高齢者保健福祉計画について



阿南 澄男

問 後期高齢者（75歳以上）が2005年には1、100万人、2025年には2、100万人との予想があり、実に5〜6人に1人が75歳以上の指摘があります。地方においては人口の減少と高齢化は避けて通れない現実です。市の介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画も20年度に第4期策定が予定されている中で、1点目として、介護予防事業の現状は。施設サービス利用者が計画を上回る実績となっているがその要因は

答 18年度から3年間の第3期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画では、介護保険の該当になることをできる限り防ぐ「介護予防事業」の施策に取組んでいます。

「認知症予防講演会」には、180名の参加をいた

だき、高齢者の関心も高く、早期発見・早期対応に効果が上がっています。他市町に比べ、市内には特別養護老人ホームをはじめ、老人保健施設などの施設が9施設、定員数は448床と、利用し易い状況にあると考えられます。

問 2点目として、特養施設の待機者が定員の倍近くになっているが、今後の予想と待機者解消の対策は

答 県内では中東地区は高齢者の割合に比較し、入所施設のベッド数が多く、施設には恵まれておりますが、待機者に関しては今後も増加することが予想されます。施設整備以外の対策は、ケアマネージャーが本人・家族の意向を尊重する中で、必要なサービスを組み合わせ、在宅での生活を支

え、高齢者の関心も高く、早期発見・早期対応に効果が上がっています。他市町に比べ、市内には特別養護老人ホームをはじめ、老人保健施設などの施設が9施設、定員数は448床と、利用し易い状況にあると考えられます。

問 3点目として、20年度に第4期の策定となるが、中期10年、長期20年の見通しを立てる必要があると思いますが

答 ご指摘のとおり、中・長期的見通しを立てた中で策定していきます。計画の柱としては、第1に介護予防を推進し、要介護状態への移行防止、第2に先程述べました施設入所待機者を減らすためにも、在宅での生活を支える体制の充実に取組んでいきます。しかしながら行政サービスにも限界がありますので、今後、団塊世代の方々にも介護予防リーダーとして活躍いただけるような施策を推し進めていきたいと考えています。

御前崎地区公共下水道について 今後の御前崎市政について



曾根 紀久雄

問 御前崎白羽地区の下水道事業については、浜岡地区が完了した段階で着工していきたいとの市の意向で、各町内会で説明会を開きました。その後町内会長を通じ御前崎白羽地区全世帯に意向調査を行いました。8割以上の人が、応分の負担を承知しながら希望すると結論ができました。これを受けて地区全体で下水道整備促進の陳情書を提出しました。市議会としても下水道特別委員会を設置して検討を進めています。

私、港、漁業、観光等々、海に生きる御前崎にとって下水道整備はたとえ時間がかかっても進めなければならぬと、考えは変わっております。

問 今後の御前崎市政について伺います。

我が御前崎市は、中東遠、また県内でも注目のまちです。静岡空港、アークス道路の開通、そして国際貿易の拠点御前崎港、スズキの生産工場など、この4年間は御前崎市にとって最も重要な年になると考えます。

市長は市長選への出馬の意思と今後の御前崎市政をどのように考えているか

答 私は3年9ヵ月、さまざまな問題と向かい合い、市民の幸せのために全力をそそいでまいりました。その結果、農業、水産業、商工業、観光振興、行政改革、教育、医療福祉の向上、防犯防災等、分野において新たな課題が見えてきました。この4年間で芽生えた市民協働意識を大きく花咲かせることが私に課された責務であると考え、来期も市政を担ってまいりたいと考えております。

児童生徒間のいじめ問題と 命を大切と思う心を如何にして 育てるかについて



岡村 勝

問 増加の一途をたどる児童生徒間のいじめ問題について、早期発見、早期対応、事後対応がキーワードになると思いますが、教育長の考えは

答 指摘のとおりいじめの実態の把握は学校も保護者も見えにくい構造になっていきます。最近のいじめの原因となっているのが携帯電話です。教育委員会ではネットいじめやネット社会の課題に対応するために、来年度、家庭教育出前講座を開講し、携帯電話やインターネット等のネット社会の落とし穴や課題に対応していきたいと考えています。

問 現在、児童虐待、ネグレクトの数も増加傾向を示していると言わざるを得ません。行政の執行者として今後如何なる方策で対処していくつもりか

答 平成19年度は11月末現在すでに508件と増加しているのが現状です。児童虐待を防ぐには、深刻な事態になる以前に情報をつかむ事が重要であり、体制を整え早期発見に努めていくと共に、保健師や家庭相談員による相談体制や子育て支援センターの機能充実を図りたいと考えております。親子関係の修復を重視し、親への教育やサポート体制にも更に力を入れていきたいと考えております。

問 命についてかけがえの無い大切なものであるということを子供たちにどの様にして教えていくべきかという事ですが、私は学校における動物飼育を提案します。ゲームでリセットすれば何回でも生き返れると誤解している子供に一度死ぬと二度と生き返れないんだという事を覚えてほしいと思います。考えは

答 動物の飼育、育成で命の教育は的を射たご指摘だと思います。本市では命を大切に、人への思いやりの気持ちを持つなどの感情は子供たち自身が自らに自信を持つ事や誇りを持つ事などの自尊感情を育む事によって育つものだと考えています。今後も動物の飼育も含め、生きる力の根源である「自尊感情」の心情陶冶に力を注ぎたいと考えています。

●ネグレクトとは
幼児や児童の放置（栄養不良・極端な不潔・怠慢ないし拒否による病気の発生・学校へ行かせない等）を言う。

石原市政の成果と課題について



杉浦 謙二

問 石原市政、7つの公約に対する成果と今後の課題は

○対話のあるまちづくり
○安心で安全なまちづくり

○市政サービスの一体化
○人づくり教育に重点

○地元産業の育成と雇用拡大

○医療福祉の充実

○観光の振興

答 対話のあるまちづくり

では、就任以来毎年、市政懇談会「御前崎市タウンミーティング」を開催してまいりました。市政に対する私の考えを伝え、市民の皆様の考えを市政に生かすことが私の政治姿勢の原点であります。

市政サービスの一体化では御前崎エリアへのケーブルテレビ施設を整備し情報の共有を図りました。職員が出向いていく

ワンストップサービスに努めています。夜間窓口として「火曜ナイト税務」を開始し、18年1月には市民窓口も加わりまし

た。18年4月からはコンビニ納付を開始し利便性を図ってまいりました。

安心で安全なまちづくりでは、防災マップ作成、各課単位で防災担当者の配置、青少年健全育成サポート隊の結成、防犯専門指導員の委嘱、高森町と災害救助法による応援協定、等実施して参りました。人づくり教育では「なぶら子ども読書活動」推進計画を発表し、図書館、学校、ボランティアなど連携し、読書活動推進、不登校児童や生徒や生徒を支えるサニールームを開設、全市民を対象とした「マナーモデル運動」の実施、海に親しむ「マリンスポーツクラ

ブ」の創設。地元産業の育成と雇用拡大では、荒廃農地対策と特産品の開発、御前崎港には定期コンテナ船4航路就航しておりコンテナ取扱量も順調に伸びている。工業用水を活用し、空港、港湾、電源立地交付金など地の利を生かした優良企業の誘致を進める。医療福祉の充実では18年大橋病院をはじめ5人の内科医師の着任、経営企画室を設けて経営改善を図る。マルチスライスCTを導入しての診断機能の充実、リウマチセンター開設、特色ある専門的医療の提供、院内保育所の開設等を実施してまいりました。依然として医師・看護師不足が続いております。今後、専門委員会を立ち上げ医療を考えていく必要があります。

災害時要援護者

避難支援計画について



増田 雅伸

問 市は風水害や地震等の災害に備え要援護者の避難支援を迅速、かつ的確に行うために、平常時から要援護者に関する情報を把握し、防災情報の伝達手段、伝達体制の整備及び避難誘導等の支援体制を確立することを目的として「災害時要援護者避難支援計画」を作成しました。具体的な内容と支援計画の推進体制は。また実際に支援体制が整うのはいつか

答 平成16年の梅雨前線豪雨や台風等における高齢者等の被災状況を踏まえ、国により平成17年3月に「災害時要援護者の避難支援ガイドライン」が示され、その中で市には災害時に自らの力で適切に対応できない要援護者に対して、地域において避難支援の仕組みづくりを行う「災害時要援護者避難支援計画」の作成を求められています。これを受け、県において本年4月にモデル計画を作成し、県内市町に示されました。当市においても本計画策定の必要性が高いことから、福祉課、高齢者介護課、防災課で協議し、関係機関等に依頼、調整を図り湖西市に続きこの11月に「災害時要援護者避難支援計画」を策定しました。計画の内容は「全体的な考え方」と「要援護者一人ひとりに対する個別計画」で構成されており、「全体的な考え方」では災害時における要援護者支援班の設置等の推進体制、関係機関の役割、要援護者リストの対象者及び情報共有・管理に関する内容と、個別計画の記載内容に関する事、安否確認体制、避難所等における

支援体制等の規定をしています。「個別計画」は他の人の支援がなければ避難できない在宅者で、かつ家族等による必要な支援が受けられない方が対象者で、同意を得られた方について策定します。11月末までに各地区の民生委員や自主防災会の協力をいただき個別計画の提出をいただきました。個別計画は少なくとも年一度の見直しを行い、内容に変更ある場合は正しい情報に更新を行う予定です。この資料を基に来年1月末までに取りまとめ、民生委員、自主防災会、消防団等と情報を共有し、風水害や地震の災害時には市の要援護者支援班を中心に防災情報に基づき早い段階で支援を実施してまいります。

者避難支援計画」の作成を求められています。これを受け、県において本年4月にモデル計画を作成し、県内市町に示されました。当市においても本計画策定の必要性が高いことから、福祉課、高齢者介護課、防災課で協議し、関係機関等に依頼、調整を図り湖西市に続きこの11月に「災害時要援護者避難支援計画」を策定しました。計画の内容は「全体的な考え方」と「要援護者一人ひとりに対する個別計画」で構成されており、「全体的な考え方」では災害時における要援護者支援班の設置等の推進体制、関係機関の役割、要援護者リストの対象者及び情報共有・管理に関する内容と、個別計画の記載内容に関する事、安否確認体制、避難所等における

広域行政の推進について

広域アクセス道路の整備は
広域消防体制のあり方は



西島 昌和

問 御前崎市道路整備計画による地域幹線道路として、上朝比奈を經由して金谷御前崎連絡道路と結ぶアクセス道が計画されています。実現すれば地頭方IC・須々木ICに続き3本目のアクセス道路となり、榛南地域との結びつきが強化され、産業振興や防災面での緊急輸送路、更には市道頭山線(市道西部線の延長)の完成により救急搬送道路として、両市共に相乗効果のある地域幹線道路があります。牧之原市との計画調整や取り組みは

答 4市による「浜岡原子力発電所安全対策協議会」にて核燃料税収入による地元事業への還元施策などに対して、国・県に幅広く強く要望活動等を行っております。地元の強い要望により、道路整備計画に市道108号

線(宮ヶ谷行僧原線)の延伸アクセスを示しているところですが、今後国・県の指導を得ながら、道路利用率・利便性を考慮し、牧之原市とも十分検討を行ってまいりたいと考えております。

問 広域消防について、中東遠・志太榛原の行政区境に位置する御前崎市にとり、市としてのあり方は、また、救急対応など隣接市間の相互補完や

協力体制づくりは

答 再編成については、県に対して行政区域等考慮するようお願いしていく考えです。平成20年度から広域消防運営計画を作成する上で、地域事情に十分配慮して広域化の効果を運営計画に盛り込むよう検討してまいります。平成20年4月から市役所に消防待機所を設置

し、救急車1台、消防車1台を配備します。カバーできない地域もあり、今後運営計画の中で検討し、初動体制のより充実と地域の実情に即した適切な消防体制とし、消防署と連携をとって防災に強いまちづくりを努力してまいります。

問 道路整備計画の推進に当たり、隣接市との定例の協議の場づくりが必要では

答 広域道路については、個々に協議しております。今後静岡空港、御前崎港の更なる発展の中で、この地域も期待されており、このアクセス道路計画についてもしっかりと連携をとりながら事業を進めていきたいと思

女性専門相談窓口の設置について 不妊治療の助成制度について



岩瀬 初代

問 思春期から更年期まで生涯を通じた、女性特有の身体・精神的な悩みなどの相談を受けられる窓口を設置する考えは

答 現在静岡県では、指定医療機関において不妊治療を受けた方に対する補助制度を、平成16年度から始め、国と県が費用負担をして実施されておりますが、御前崎市においては、助成制度は行っておりません。

問 少子化対策のためにも、高額な不妊治療の負担軽減に向け市単独の助成制度に取り組んでいる自治体が増えていますが市の考えは

御前崎市における届出出生数は、平成17年は336人・平成18年は330人で若干の減になっていることを踏まえ、検討して話せる環境に配慮しつつ、担当課の連携を密接にして、相談に対応していきたいと考えています。

不妊でお悩みのご夫婦を
静岡県がサポートします。



産業振興について



若 杉 泰 彦

市の先進的指導

問 各企業の事業内容をよく理解し、地域的・先進的指導を積極的に進める機会を設定して欲しいという要望に対して市はどう考えるのか

答 人材面の取り組みとして国や県と連携しながら小笠地区、島田地区の雇用対策協議会の中で就職フェアや学校との情報交換会や職場見学会を実施しています。また、県と富士山静岡空港周辺15市町で基本計画策定のための研究会を立ち上げましたので、今後は本制度を活用し県内外に情報発信します。

御前崎港

問 御前崎港の利用促進活動で市内企業の利用状況とそのニーズにどの程度応えているか

答 地元企業を始め本県中

西部地域の企業、商工会を個別に訪問し、御前崎港のPRと利用の検討をお願いすると共に、今後のポートセールス活動を生かすため、輸出入貨物の状況や御前崎港に対する要望、意見などを伺っています。コンテナ航路については4航路がありますが、市内企業でコンテナを利用して外国貿易を行っているところは少数ですが、各種要望に応えられるように活動してまいります。

人材確保

問 多様化する就業構造に対応した市内就業者の確保と雇用の場を形成する施策は

答 企業訪問時に雇用者の確保についてよく聞かれますが、雇用対策につきましては非常に難しい問題であり企業、商工会、市、それぞれの立場で役割を明確にし取り組んでいく必要があると考えます。今後も電源立地の優位性と空港、港を生かした新たな就業場の確保を日指して企業誘致を進めます。

問 御前崎港の見学会とセミナーは年に1度ですが、回数を増やしてPRの機会をもっと増やせないか

答 企業の皆さんや県の指導を頂きながらいつまでも清水港の子会社ではなく天下に、世界に誇る御前崎港になるように努力

問 人材不足の対応は

答 いろいろな人材について厳しい状況があり、関連の友好都市にも相談して御前崎市で働いていただくような環境づくりに努力してまいります。

御前崎市の地域産業振興の今後の取り組みについて

・ 荒廃農地対策と地域産業振興
・ 観光と地域産業振興



後 藤 憲 志

問 「ふるさとを荒らさない」を合い言葉に荒廃農地再成対策事業を新規に立ち上げ、関係団体や関係各課連携の下、現在各事業に取り組み、その成果が期待されており、また多くの課題も提起されると思います。今後も継続事業として推進して頂きたいと思いますが、今後の取り組みについては

答 荒廃農地は、採算が取れないからという理由が発生原因であることから、その解決策は大変困難な課題であります。何らかの措置を講じなければ、その状況はますます悪化してまいります。そのため、いち早く今年度予算化をし、多方面から取り組むことにより、その糸口を模索しております。今年度実施しております様々な事業につきまして、年度内に可能な検証

を行い、農業委員会を中心に仮称「荒廃農地対策協議会」を発足させ、補助要綱を整備しながら、生産・加工・販売を担う民間組織が自立していきけるよう、採算が取れるシステムを模索していきたいと考えております。本事業は1年で結論が出せる事業ではありません。数年を中途に道筋をつけた

問 「御前崎市観光戦略基礎調査報告書」を基に御前崎市の観光の方向性、観光振興策のプランづくり等への取り組みによる市としての新しい観光振興策については

答 新たな観光施策を展開するためには、観光資源の充実や宿泊客への魅力の向上、生活環境の向上、

原発と地震、プルサーマル問題について 後期高齢者医療問題について コミュニティバスの運行問題について



清水 澄夫

問 中越沖地震は甚大な被害をもたらした。想定

する東海地震、マグニチュード8・5に対し、中部電力は耐震裕度向上工

事をしているので大丈夫だと言う。これをうのみ

にしているか

答 大地震が発生しても、国の耐震指針に基づき設計、建設をされており、浜岡原子力発電所耐震安全性は確保されています。安全上重要な設備については600ガルの地震に対しても安全機能が確保できるよう設計、建設されています。

問 プルサーマル導入について、市長は住民の理解が得られたとの考えはどこで判断したか

答 市主催の説明会や各種団体との話し合いで一定の理解が得られたと考

えます。医療が受けられる制度の構築のために必要と考

問 後期高齢者医療制度について以下4点をお聞

きする。

①保険料額と該当する人数は ②納付困難な高齢者に対する保険料減額

への対応は ③老人保健法による「基本検診」は

④市長はこの制度の撤回を国、県に申し入れるべきでは

答 ①年金額208万円の人

は年73、600円、

年金79万円の人

は年1万800円です。

対象者は4、123人

(10月末)

です。②所得の少ない世帯は均等割額の減額措置

を行う。被扶養者で保険料を払ってこなかった人

は2年間所得割なしで、均等割を5割軽減しま

す。③後期高齢者医療広域連合が市へ委託するこ

とになります。④安心し

て医療が受けられる制度の構築のために必要と考

問 コミュニティバスについて市長は検討すると

言って来たが、その後の結果は

答 「地域公共交通会議」を立ち上げ、「浜岡」か

ら東の路線は、朝夕の高校生を中心とした利用者

が多く、廃止することができず市単独の自主運行バスとします。浜岡循環線については、学童の輸送が中心であるためスク

ールバスに切り換えま

す。御前崎地区から市役

所・病院の路線は、比木

回りを考えています。コ

ミュニティバスは各市町

とも利用者が少なく運営

が苦しいと聞いていま

す。福祉タクシー券との調整を図りながら考えて

いきます。

委員会報告

審議された質疑をピックアップ

総務経済 委員会

◆ 条例に関する審議

問 市議会議員や特別職の報酬を上げるべきではないと思うが執行部の意見は。

答 掛川市は特別職、議員共に引き上げ、菊川市は特別職は据置き、牧之原市はまだ決まっていない状況です。期末手当の率も県内すべて同率ではなく各市も決して高い率ではないため、今回期末手当の改正をお願いした。

※ 少数意見として据置きの意見もありました。

◆ 補正予算に関する審議

問 路線バス補助事業について、来年度から予定しているバスの予算規模は

どの程度になるのか

答 この補正は浜岡循環線のみのも。来年度予定しておりますものはスクールバスの運行であり、市バスの維持管理費等になります。その他相良御前崎線、相良浜岡線につきましては今年度実績から牧之原市と距離按分し20年度に約1、600万円の負担と予想されます。浜岡営業所から御前崎までは自主運行バスの予定ですが試算がまだ出ていません。



問 自主運行バスについて

計画コースの一覧表はあるのか

答 計画路線はまだ決定しておりません。1月に公共交通会議を開催し料金設定、ダイヤ、バス停等の協議を行い2月に県の公共交通会議にかけられる予定です。

問 マリンパーク費中、風力発電機の今年度稼働状況を教えていただきたい。

また、建設はベスタスの製品で建設したが、メンテナンスはどうなっているか

答 19年度11月までの実績で電力量51万6,984kw、売電料607万9,725円となっています。

メンテナンスは大旺建設にお願いしています。

外国製品でありメンテナンス、部品の調達が難しく長期の停止となつてしまいました。

問 建設当時の2億円を8年間で返済するという話

があったが現在も継続中なのか

答 約2億円の建設費の内、2分の1の約1億円が当時の町の負担であり、売電収入が年間2千万円くらい得られる予定でした。風向計事故による減もありましたが、事故に対応した保険の補償収入もあります。



問 マリンパーク費について投資効果、今後の見通しはどうか

答 港湾振興事業は旧御前崎町から約70億円程度

負担していると思われる。一昨年から利用者数は、使用許可を出したもので2割増の約21万人、年間一般利用客も5、6万人はいると思われ

ます。東西ビーチの利用、マリンスポーツの利用客を増やし観光交流拠点としてより多くの方に利用していただきたいと思つています。

問 繰越金について、9月に決算が終わっているのにまた前年度繰越金が出るということがあり得るのか

答 19年度当初で4億円計上しておりますが5月決算時に15億3,502万5千円の繰越額になりました。決算剰余金が生じた場合翌々年度までに基金積立または、償還期限を繰り上げて行う地方債の償還金にあてるとなっており、歳入、歳出の状況を見ながら計上しております。

文教厚生 委員会

◆ 補正予算に関する審議

問 学校給食費について、穀類の値上がりにより材料費が高くなっているが保護者に対する負担を考

えているか

答 穀類、原油等の高騰により現在より15%増になっているのではないかと、これに伴い給食費を上げるのか、量を減らすのか等の検討を内部で行つています。



問 介護保険費について地域支援事業の3カ年計画があるが計画値に対する実績値が極端に低く、包括支援センターが十分機能していないと思われる。計画倒れにならないように、てこ入れが必要ではないか

答 介護予防に力を入れていきたいと思つています。包括支援センターにつきましても新年度に向け考慮していきたいと思つています。

問 17、18年度の生活保護世帯、新規の保護世帯数は

答 17年度当初45世帯、年度中新規10世帯、廃止15世帯、年度末40世帯です。18年度は新規12世帯、廃止8世帯、年度末44世帯となっています。

問 4月に全国学力テストが行われ本市は分析結果を公表するとなっているがどうか

答 学力、学習状況調査等、

授業改善検討委員会を立ち上げ分析をしている。1月に最終結果を出し保護者を中心に公開する予定です。



問 市内5小学校の中で差があるかどうか

答 小学校においては比較的高い基準でほとんど横並びです。

問 高松幼稚園、佐倉多目的ホールの着工が建築基準法改定に伴い遅れた関係で、資材の高騰もあり何らかの救済措置が必要では

答 負担が出た内容は把握するようになっている。今後どういう形にしていけるかは慎重に検討させていただきたい。

問 図書館費関係で、開館日を増やす話はどうなったのか

答 休日の10日前後は開館していく対応を新年度から取りたいということ。勤務状況等検討している。



的にどのような努力をしたのか

答 8月、12月と税務課の国保徴収係と国保担当職員が個別訪問して収納努力をしています。

問 薬品費が上半期報告書で外来患者が減る中で増えており、薬品の内容は

答 診療内容が変わって来ており、最新薬を使用すると高額医療費対象となるような薬で収入も上がるが、薬品費の経費が上がることにもなります。

問 病院経営において、赤字が減っても患者が減っては経営改善にはならない、その点をどう考えているのか

答 近隣病院に流出した患者さんで、御前崎市民の方には帰って来ていただくよう考えていますが、医師も3人揃わないと対応できない診療科目もあり医師の確保が課題となっています。また技師、

機械を有効に使い人間ドックを行い介護予防に生かせるように検討もしておりますが、医師不足がやはり問題となっています。



問 嘱託、非常勤医師の率が高いためにコストが多くなっていると思われませんか。根本的な経営計画を立てたらどうか

答 原発立地に伴う病院の必要性を考え、今後の病院の有り方を年度内くらいに出して文教厚生委員会に示し、ご指導いただきたい。

総合開発計画策定特別委員会

平成19年10月17日

平成19年12月17日

協議事項

- (1) 原子力発電施設立地地域共生交付金整備計画について

9月25日に執行部から提出され、継続審議となっていた計画案について質疑を交え協議を取り入れられないか県に対し打診要望の意見が出された。

- (2) その他

三法事業で建設が計画されている佐倉多目的ホール、高松幼稚園について、国の制度改正により建築確認審査が遅れており、本年度完成は不可能となった旨の説明があった。

協議事項

- (1) 国土利用計画（第一次御前崎市計画）案について

まちづくり検討委員会の提案を反映して作成された国土利用計画の素案が提出され説明を受けた。内容の審議は次回に行う。

- (2) 現場視察

金谷御前崎連絡道路（国道150号バイパス）市道頭山線強建設現場



原子力対策特別委員会

(1) 平成19年10月15日

文部科学省が進めている、東海・東南海・南海地震の連動性評価研究について、調査研究をした。



文部科学省

(3) 平成19年11月1日～2日

東京で開催されたエネルギープラザ2007に参加して研修を実施した。



こまばエミナース

(6) 平成19年11月29日

プルサーマル計画受け入れに伴う国・県への要望活動として、経済産業省・資源エネルギー庁・原子力安全保安院と静岡県庁を訪れて要望活動を行なった。



静岡県庁



経済産業省

(8) 平成19年12月3日

プルサーマル計画受入に伴う事業者に対する要請書提出についての活動を行なった。



中部電力(株)本店

(9) 平成19年12月17日

- ◆ 新しい検査制度における保安活動の充実について
- ◆ MOX燃料に関わる国・事業者の回答について
- ◆ 事業者の安全・安心への取り組みについての回答について
- ◆ 原子力発電所に係る消防法について
- ◆ 浜岡原子力発電所に係る保安検査結果について
- ◆ 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果報告について

(2) 平成19年10月30日

浜岡原子力発電所運転転差し止め訴訟の判決結果について

◆ 中越沖地震を踏まえた原子力安全・保安院の対応について

◆ プルサーマル計画について

(4) 平成19年11月19日

プルサーマル計画についての調査研究に基づき意見集約をし、委員会として受け入れを決定した。

(5) 平成19年11月20日

プルサーマル計画受け入れに伴う申し入れ事項について検討した。

(7) 平成19年11月30日

浜岡原子力発電所4号機起動中の原子炉手動停止について事業者より報告を受けた。

総務経済委員会視察研修

(平成19年10月22日～23日)

視察研修先

- 1 福井県敦賀市 嶺南ケーブルネットワーク
- 2 福井県小浜市 若狭フィッシャーマンズ・ワーフ

1 嶺南ケーブルネットワーク

有線テレビジョン放送開始は平成元年11月で26、416世帯が接続(加入率97%)しています。平成17年度売上高は12億3、900万円です。営業利益も出ています。現在はテレビサービス、アナログ放送27CH、通信系サービス(インターネット)、自主放送チャンネル4CHがあり、平成18年7月



からは地デジ自主放送(自主データ放送)も開始している。また、WiMAX(ワイマックス)を活用したサービスを実証実験し早期の商用化を進めている。

2 若狭フィッシャーマンズ・ワーフ

海の風景と地元物産の流れを観光客に結びつける営業を計画し、昭和60年4月に若狭フィッシャーマンズ・ワーフが開店した。観光土産品製造、加工並びに販売と飲食業の運営をしています。また、平成15年には蘇洞門めぐり遊覧船の事業も開始しています。年間30



万人の観光客が来店し、7億円の売り上げがあり、地元商品の販売あるいは雇用を通じて、小浜市の地域活性化に貢献している。

文教厚生委員会視察研修

(平成19年10月9日～10日)

視察研修先

- 1 神奈川県横浜市 済生会横浜市東部病院
- 2 神奈川県泰野市 泰野市教育委員会

1 地域中核病院としての

運営について

横浜市が土地を提供、公的医療機関及び社会福祉法人としての役割を活かし、患者中心の総合医療施設を目指している。特に救命救急センターを中心に、一次から三次までの全次型の救急医療を目指し、更には循環器・小児科・精神科救急の充実を図っている。入院病床は個室の割合を高くし、外来、入院環境の快適さを重視している。



2 市立幼稚園の

預かり保育について

核家族化及び少子化等により幼児を取り巻く環境が変化している中で、園児の保護者が就労・疾病・家族介護等により、幼稚園の正規の教育時間終了後、保護者による保育が出来る場合、希望する園児を幼稚園において一定時間保育するものです。



原子力対策特別委員会視察研修

(平成19年11月5日～6日)

視察研修先

柏崎市・刈羽村

新潟県中越沖地震による被災状況調査の為に柏崎市・刈羽村を訪れて、原子力発電所と、市内の被災状況を視察した。



柏崎市役所



柏崎刈羽原子力発電所4号機



市内道路被災地

原発立地議会

中越沖地震柏崎刈羽原発・災害対策緊急大会

(平成19年11月21～22日)

開催地

新潟県柏崎市

7月16日の中越沖地震により、東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所がマグニチュード6.8、震度6強の揺れに襲われ、発電所の設計加速度を上回る震度を記録し被害を受けたもので、現在までの状況を東電より説明を受け、国への決議文を採択した。

2日目は、柏崎刈羽原子力発電所の被害状況の視察を行なった。一般市民の被害も大きく、市内各所、仮設住宅の状況も合わせて視察した。



柏崎市産業文化会館

議員視察研修

(平成19年11月17日～18日)

視察研修先

長野県高森町

高森町制施行50周年記念ふるさと祭り視察及び町議会議員・町三役との交流を行った。
高森町とは、去る9月24日友好都市提携の調印式が行われ、ふるさと祭りには、御前崎市からも特産物の販売や試食、交流事業の紹介、またコーラスやダンス等のステージ発表で花を添えた。

原子力公開講演会

(平成19年12月6日)

会場 男女共同参画センター「あざれあ」

演題 「柏崎刈羽原発、

褒めるべき点、反省すべき点」

講師 大前研一氏(経営コンサルタント)

新潟県中越沖地震における東京電力柏崎刈羽原子力発電所の事象を踏まえ、有識者の視点から見た災害や原子力発電所の安全性の評価とあるべき対策について公開講演会が行われた。



第8回 静岡県市町村対抗駅伝競走大会

第8回静岡県市町村対抗駅伝競走大会が12月1日、静岡市を舞台に行われました。今大会より1区間増え、11区間42.195kmを県内42市町から「市の部」に27チーム、「町の部」に19チームが出場しました。御前崎市からは20名の選手がエントリーし、昨年度より順位を5つ上げ市の部で23位となりました。試合後、選手一同で来年はさらに順位を上げることを誓いあいました。

● 議会の動き ●

- 10月**
 - 1日 相寿園管理組合議会
 - 牧之原市御前崎市広域施設組合議会
 - 3日 市長杯グラウンドゴルフ大会
 - 原発議長会役員会・サミット実行委員会合同会議
 - 4日 西部地区市議会議長協議会
 - 5日 議会だより編集委員会
 - 9日 文教厚生委員会視察研修
 - 10日 議会だより編集委員会
 - 12日 原子力対策特別委員会地震研究研修会
 - 15日 大井川広域水道企業体協議会
 - 16日 議会全員協議会
 - 17日 総合開発計画策定特別委員会
 - 議会だより編集委員会
 - 地区別まちづくり市民会議報告会
 - 20日 市民体育大会
 - 21日 総務経済委員会視察研修
 - 22日 小学校陸上競技大会
 - 23日 中東速看護専門学校組合議会定例会
 - 24日 文教厚生委員会
 - 29日 議会だより編集委員会
 - 30日 原子力対策特別委員会
 - 議会だより編集委員会
 - 31日 環境保全対策審議会
 - 浜岡原子力発電所安全等対策協議会臨時会
 - 御前崎市立図書館協議会
 - 全国自治体病院経営都市圏協議会第3回地域医療セミナー
 - 御前崎港整備促進要望
- 11月**
 - 1日 原子力対策特別委員会（エネルギーフーズ2007）
 - 2日 中東速地区市議会議長協議会
 - 子育て支援DVネットワーク会議
 - 3日 御前崎市文化祭
 - 4日 原子力対策委員会視察研修
 - 5日 核燃料税廃止要望
 - 6日 青少年健全育成総決起大会
 - 11日 駿遠学園管理組合議会
 - 15日 原子力対策特別委員会
 - 19日 高齢者保健福祉計画推進委員会
 - 介護保険運営協議会
 - 地原密着型サービス運営委員会
 - 市立御前崎総合病院医療連絡会
 - 20日 議会全員協議会
 - 暴力追放銃器根絶総決起大会
 - 25日 原発立地議会中越沖地震相崎・刈羽原発災害対策緊急大会
 - 27日 御前崎市大産業まつり
 - 30日 議会全員協議会
 - 市町村対抗駅伝競走大会
- 12月**
 - 1日 市町村対抗駅伝競走大会
 - 24日 議会全員協議会
 - 25日 御前崎市大産業まつり
 - 27日 原発立地議会中越沖地震相崎・刈羽原発災害対策緊急大会
 - 28日 御前崎市大産業まつり
 - 30日 議会全員協議会
 - 市町村対抗駅伝競走大会

2月定例会の予定

2月定例会は、2月25日（月）から3月17日（月）までの22日間の会期で開催される予定です。

日程は、変更になる場合がありますので、事前に議会事務局（電話85-1115）までお問い合わせください。

- 2月**
 - 25日(月) 本会議（議案説明）
 - 26日(火) 本会議（議案説明）
- 3月**
 - 5日(水) 本会議（質疑・一般質問）
 - 6日(木) 本会議（一般質問）
 - 17日(月) 本会議（質疑・討論・採決）

編集委員会

委員長
副委員長

- 増大西若岩 曾
- 田澤島杉瀬 根
- 雅 昌泰初 紀
- 伸満和彦代 久 雄

- 2日 東遠議員交流フォーラム
- 3日 地域防災訓練
- 3日 12月議会定例会
- 6日 原子力公開講座
- 7日 牧之原市御前崎市広域施設組合議会定例会
- 13日 議会だより編集委員会
- 14日 年末交通安全県民運動街頭広報
- 総務経済委員会
- 文教厚生委員会
- 市立御前崎総合病院倫理委員会
- 原子力対策特別委員会
- 17日 総合開発計画策定特別委員会
- 18日 県原子力発電所環境安全対策協議会
- 20日 御前崎市牧之原市学校組合議会
- 議会運営委員会
- 21日 議会全員協議会
- 議会だより編集委員会
- 22日 中越沖地震を踏まえた対応状況についての報告会
- 25日 東遠地域広域障害者計画策定委員会
- 26日 議会だより編集委員会